

令和7年5月2日の給食

端午の節句



「節句」は、奇数が重なる日です。

5月5日の「端午の節句」には、男子の健やかな成長を願う風習があります。現在は、「こどもの日」となり、国民の祝日になっています。

今日は、皆さんの健やかな成長を願う献立です。



★☆☆ 筍の筑前煮

★ 牛乳

★ 果物(デコポン)

★ 鯖のみそ焼き

★ 赤米ごはん

★ 端午のすまし汁

☺ 八王子産長ねぎ、小松菜使用



赤米ご飯



お祝いの席では、紅白のものが定番。
赤い色は、魔よけになると考えられて
いました。



11 和食文化を
伝えよう



赤米ごはんは、
お赤飯のルーツ
です。

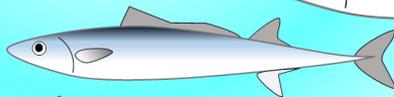
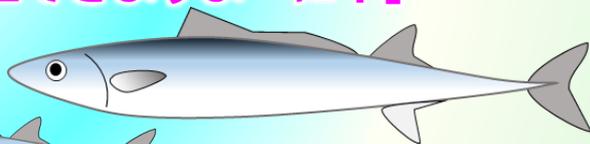
筍の筑前煮



筍は、成長が早いうえ、まっすぐ育
つことから、「まっすぐ元気に育て」
という想いが込められています。



鯖は、大きくなるにつれて名前が変わる
出世魚。「立派に出世できますよ〜に！」
という縁起物です。



鯖のみそ焼き

端午のすまし汁



かぶとの形をしたかまぼこを
浮かべて「端午のすまし汁」。

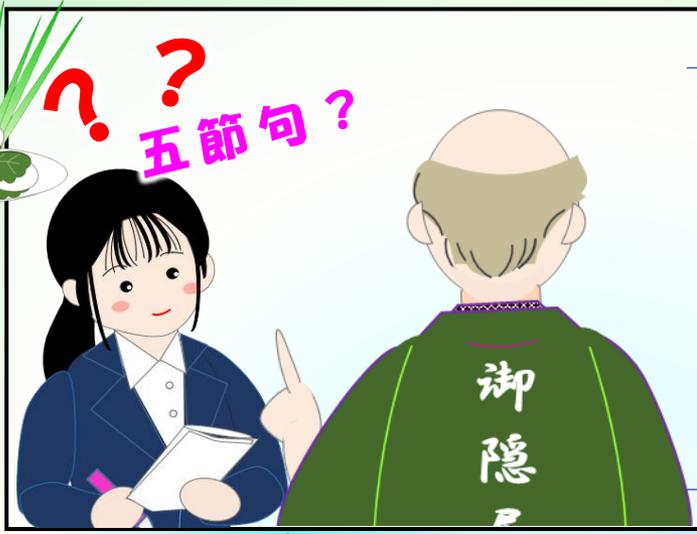


端午「たんご」
は「かまぼこ」



端午とは、そもそもは、月の始めの午うまの日という意味である。

「午」は「い」とも読むので、「五節句」の1つの5月5日が端午の節句になった。



五節句

- 1月7日 じんじつ 人日 (七草の節句)
- 3月3日 じょうし 上巳 (桃の節句)
- 5月5日 たんご 端午 (菖蒲の節句)
- 7月7日 しちせき 七夕 (笹の節句)
- 9月9日 ちょうよう 重陽 (菊の節句)

「節句」は、奇数が重なる日。でも、1月1日は、新年の特別な日なので、1月の節句だけは、ゾロ目でなく1月7日になったそうです。

端午の節句は、菖蒲の節句。「菖蒲」が、武を重んじる「尚武」と同じ音であることから、男の子のための節句になったそうです。

